

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

テレビ静岡 平成28年12月度 番組審議会概要

平成28年12月8日（木）

14時00分～15時15分

テレビ静岡本社 3階会議室

— 出席委員 —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子
木村 精治 上柳 正仁 齋藤 照安 花森 崇行 五十住和樹

— 議 題 —

番組名 「静岡であそぼ ～女子アナ的静岡周辺ときめき開運旅～」

放送日時 平成28年11月12日（土）13時30分～14時25分

*静岡の民放4局が提携して静岡県の魅力を内外に発信するwktkプロジェクトが企画、4局女子アナのユニット『4siz (フォーサイズ)』が出演して4局が4番組を製作、テレビ静岡は県中部「静岡エリア」を担当した。

制作著作 テレビ静岡

— 番組内容 —

森三中の黒沢かずこと、アナウンサー本谷育美（テレビ静岡）、内山絵里加（静岡放送）の3人が、運気を上げながら静岡エリアの名所や名物を堪能する旅バラエティー。県内では最大級の人気販売施設「焼津さかなセンター」では海産物に舌鼓、「駿府匠宿」では伝統工芸の駿河竹千筋細工に挑戦、県中部地区の魅力あふれるグルメやアミューズメントを紹介した。また、開運を呼び込むサポートとして、ゲッターズ飯田も登場。

— 審議概要 —

- ◎互いの局アナを出演させるなど、民放4局が協調して地域に密着し、地元を盛り上げる番組制作は全国でも異例で素晴らしい。
- ◎地元放送と合わせBS放送でも全国に伝えられるのは、括目すべき取り組みだ。
- ◎土日の午後という時間帯の放送で、落ち着いてゆったり観ることができた。
- ◎「芸妓制度が残っており、今でもお座敷遊びができる」「地元にもものまね芸人がいる」「久能山東照宮の逆さの葵の紋」など、知らない情報が新鮮だった。
- ◎静岡の食材や料理の美しさが伝わった。
- ◎ナレーター・増岡弘さんは、イントネーションが独自で語りに温かみがあってよい。
- ◎「岡村牛」「マッシュルーム」「安倍川餅」など、どこで食べられるかの説明があって、視聴者が実際に行く気になる有効な情報だった。
- ◎他局制作の東部・伊豆・西部の番組も見比べて、各局の長所を見出せたら面白い。
- ◎取材対象について、「久能山東照宮や駿府匠宿など、選択がうまい」「王道的でありきりなので、もっと穴場を紹介して欲しい」と意見が分かれた。
- ◎「開運キーワード」という横軸について、「わかり易い構成だった」「紹介先に合わせて作られたようで不自然」「誰のための開運かわかりにくい」と意見が分かれた。
- ◎黒沢さんの食レポートは、「芸人の力を発揮した面白さがある」「おいしそうだが表現が一辺倒」「許せない」と意見が分かれた。
- ◎出演3人の役割が不明確で引っ張る人がおらず、安心して観てられない。キャスティングに問題があったのでは。
- ◎民放が協力して静岡を盛り上げる経緯を説明しないと主旨が伝わらない。
- ◎富士山が見えるスポットなど、全国で観てもらえるネタが必要だったのでは。
- ◎「女子アナ的…」というタイトルにする明確な旅の目的が欲しかった。

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りで参考とさせていただきます。

次回の番組審議会は平成29年1月19日（木）の予定です。